

整理番号	事業名
補-2	遠距離通学助成事業補助金

所管部局
学校教育部学務課

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	Ⓐ 妥当(4) 妥当でない(0)	
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当	Ⓐ 妥当(4) 妥当でない(0)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	Ⓐ 妥当(3) 妥当でない(1)	〇バスの利用状況等、実態調査が必要。
	事業目的実現のための手段	現手段も有効だが他の手段も考えられる	Ⓐ 妥当(3) 妥当でない(1)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	Ⓐ 妥当(3) 妥当でない(1)	〇バスを利用していない期間について、どのような策が一番良いのか考える必要がある。
	将来コスト増減見込み	現在と変わらない	Ⓐ 妥当(3) 妥当でない(1)	
	受益者負担の適正度	適正	Ⓐ 妥当(3) 妥当でない(1)	
執行方法	外部委託の可能性	評価対象外		
	実施方法の効率性	評価対象外		

所管部局による今後の改善策	
基本方針	当面現状維持



今後の改善策について	意見・提言
① 現行どおり (0) ② 改善(1) ③ 当面現状維持(3) ④ 廃止(0)	<p>〇実態に合った補助策を再考していく必要がある。</p> <p>〇補助金の性質上、現金支給である現在の方法は見直すべき。あくまで通学にかかる実費補填でなければならず、他に流用されてもチェックすることができないことは問題と思う。</p> <p>〇バスダイヤの見直しについて生活交通協議会に対して検討を依頼すべき</p> <p>〇バスカードへの転換で透明性を上げる。</p>
外部評価委員会としての提言	
Ⓐ 当面現状維持	

